

第171回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ
『眼をひらく』
こころ
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

- 日 時 2018年9月20日（木）午後6時半～8時半
- 講 師 戸次 公正（べっき こうしょう）氏（大阪教区南溟寺住職）
- 講 題 心を弘誓の仏地に樹て
- 講師紹介 1948年生まれ。
大谷大学大学院修士課程修了。
大阪教区南溟寺住職。
- 著 書 『親鸞の詩が聞こえる—エッセンス・正信偈』（東本願寺出版）
『意識 無量寿経』（法蔵館）

先生からのメッセージ

「心をひらく」という教区サブテーマは、現代社会において「対話」と「共存」を成り立たせるキーワードです。では、私たちは自らが造る閉塞状況を破れるのでしょうか…

心の壁を叩き、信の橋を架けるには何が必要なのか？ それを「心を弘誓の仏地に樹て、念を難思の法海に流す」（『教行信証』）という親鸞聖人のお言葉に聞思してまいります。

MEMO

次回 第172回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2018年10月20日(土) 午後2時～4時

講 師 小池 龍之介(こいけ りゅうのすけ)氏 (月読寺住職)

講 題 汚れた心。それをどうするか。

講師紹介 神奈川県・月読寺住職。東京大学教養学部卒業。自身の修行を続けながら、執筆活動、一般向けの坐禅指導をおこなう。

著 書 『考えない練習』『苦しめない練習』『こだわらない練習』『頭の決まりの壊し方』(小学館) 『しない生活』『いま、死んでもいいように』(幻冬舎)
『運命とうまく付き合うレッスン』(清流出版)

メッセージ 残念ながら、私たちの心というものは、汚れています。
欲望と怒りと迷いと自己主張と理屈をこねることや、傲慢さすなわち優越感や劣等感によって、汚れているのです。
表面的にも汚れていますが、無意識の業を瞑想によって観察してゆくと、もっともっと汚れているのがわかります。
この、すさまじい汚れをクリーニングする方法を法話いたします。

